

研究課題名	口腔癌患者と健常人における腸内細菌叢ならびに口腔内細菌叢の比較検討
研究責任者名	病院 顎・口腔外科 助教 谷 亮治
研究期間	研究の実施許可日 ～ 2024 年 12 月 31 日
対象者	研究課題名「ケフィアの摂取による口腔癌患者の口腔細菌叢ならびに腸内細菌叢の変動と臨床経過に関する臨床研究」（許可番号：第 C-102 号）に参加した広島大学病院顎・口腔外科を受診した未治療口腔癌患者さん。
意義・目的	口腔癌患者の治療期間中の腸内細菌叢および腫瘍部位である口腔細菌叢の状態や変動を明らかにし、これらの細菌叢の癌治療への影響を解明することは、質の高い新しい口腔癌治療の開発や治療成績をさらに向上させるために非常に重要であると考えられます。当科では「ケフィアの摂取による口腔癌患者の口腔細菌叢ならびに腸内細菌叢の変動と臨床経過に関する臨床研究」（許可番号：第 C-102 号）を行っておりますが、新たに本研究で健常成人の調査を行い、その結果と比較検討し、口腔癌治療が腸内細菌叢ならびに口腔内細菌叢にどのような影響を与えているか探索的に解析します。
方法	「ケフィアの摂取による口腔癌患者の口腔細菌叢ならびに腸内細菌叢の変動と臨床経過に関する臨床研究」（許可番号：第 C-102 号）で得られた診療録情報および測定結果を使用し、本研究で得られた健常成人の結果を比較検討します。使用する内容は性別、生年月、人種、入院・外来の区別、身長、体重、合併症、既往歴、原疾患歴、前治療の有無、一般所見、画像検査、血液検査、臨床検査、自覚症状・他覚所見などです。 （個人を特定可能な情報は解析に用いません） 利用開始日：研究の実施許可日（2017 年 2 月 28 日）以降
共同研究機関	なし（本研究において外部への試料・情報の提供はありません）
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5667 広島大学病院 顎口腔外科 職名 助教 谷 亮治